



～日経225オプション取引の基礎～

日経225オプション取引とは？

- 日経平均株価指数を
- あらかじめ定められた日（満期日）に
- あらかじめ定められた価格（権利行使価格）で
- 買う権利（コール・オプション）または
売る権利（プット・オプション）です。

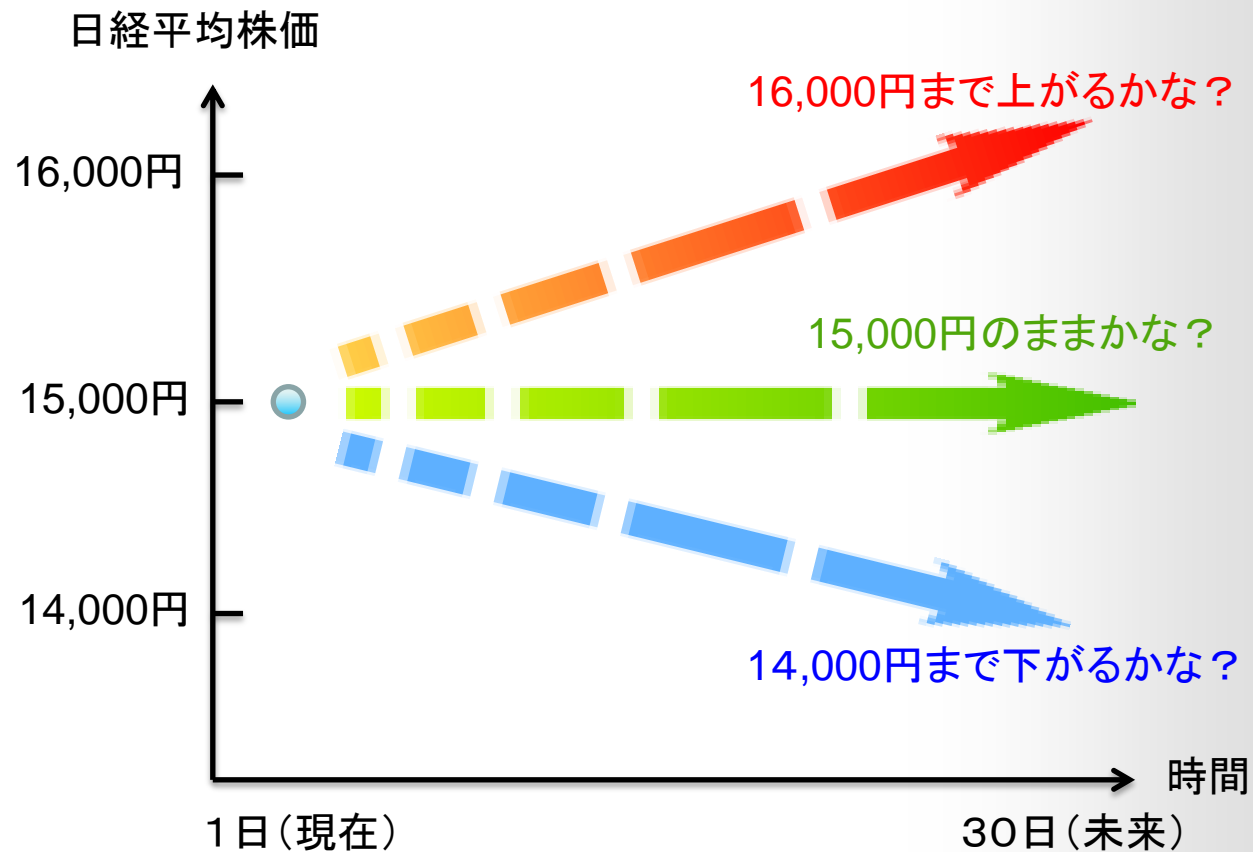
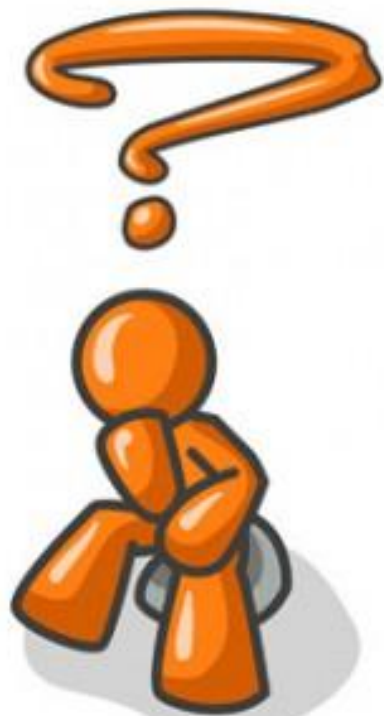
※日経225オプションの価値（価格）は、日経平均株価指数の価格の変化にともなって変動します。



「コール買い」「コール売り」「プット買い」「プット売り」
の4種類で取引を行います

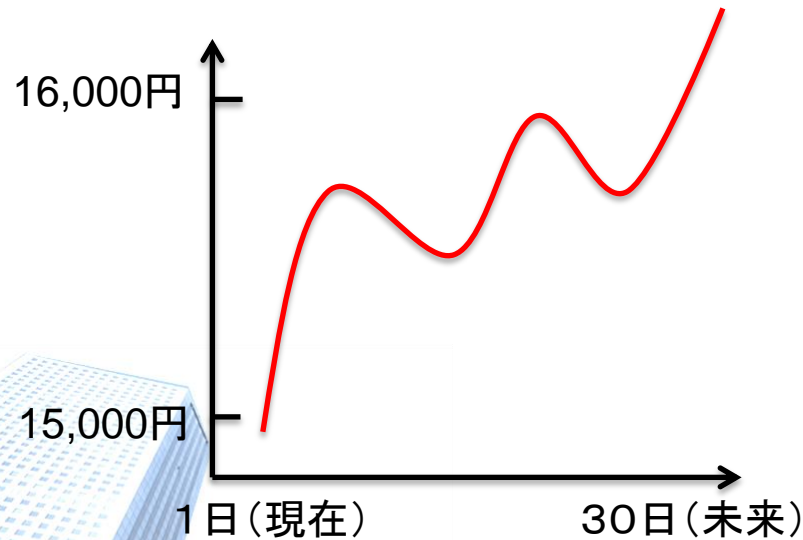
日経225オプション取引とは？

日経平均株価の一ヶ月先を『予測』し、その予測した価格の『権利』を売買します。

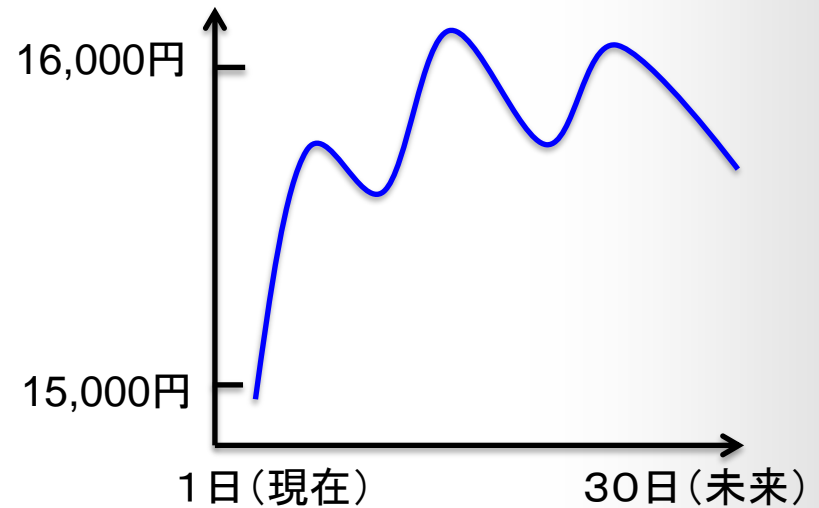


どうしたら取引が成立するのか？【例】

☆Aさんは16,000円を『**越える**』と予想！



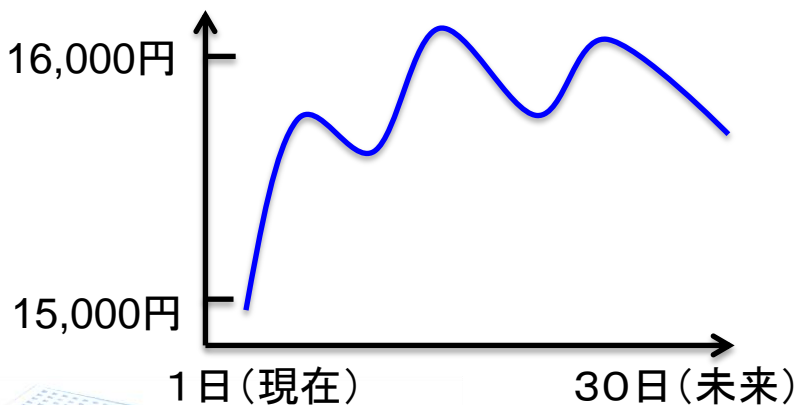
☆Bさんは16,000円を『**越えない**』と予想！



16,000円を『**越える**』と予想したAさんと、16,000円を『**越えない**』と予想するBさんとの間で権利売買の取引が成立します！

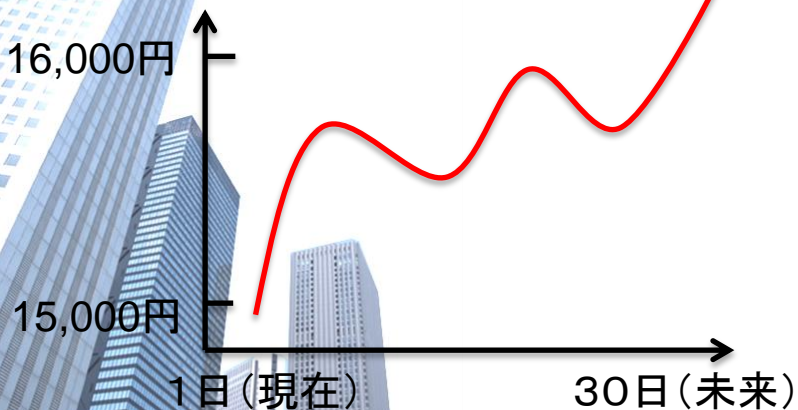
Aさんは一ヶ月後にどうなるのか？

☆一ヶ月後に16,000円を越えず負けた場合



Aさんが16,000円を越えることに『1万円』を賭けていた場合、賭けていた1万円は掛捨てになり、Bさんの利益になります。

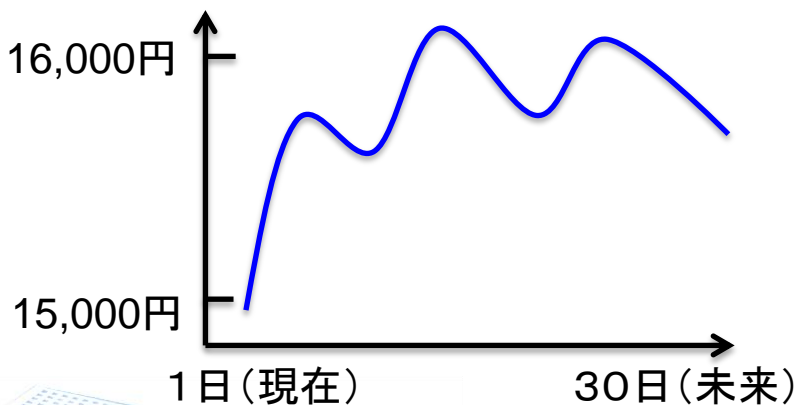
☆一ヶ月後に16,000円を越えて勝利した場合



Aさんが賭けていた1万円は返金され、更にBさんから追加で貰うことができます。

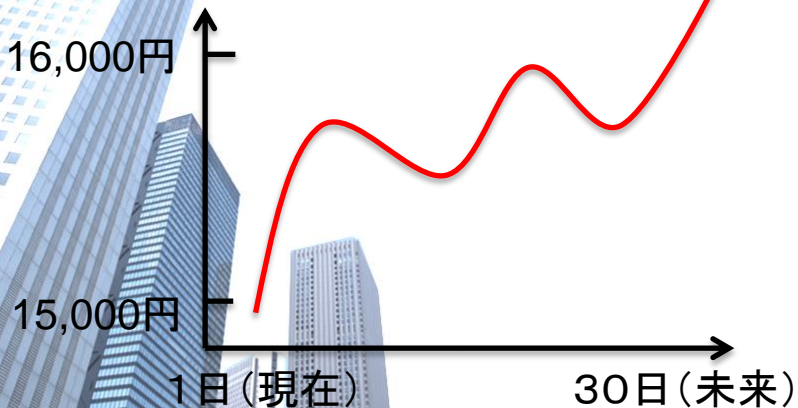
Bさんは一ヶ月後にどうなるのか？

☆一ヶ月後に16,000円を越えずに勝利した場合



Aさんが賭けていた『1万円』をBさんがそのまま貰うことができ、それが利益になります。

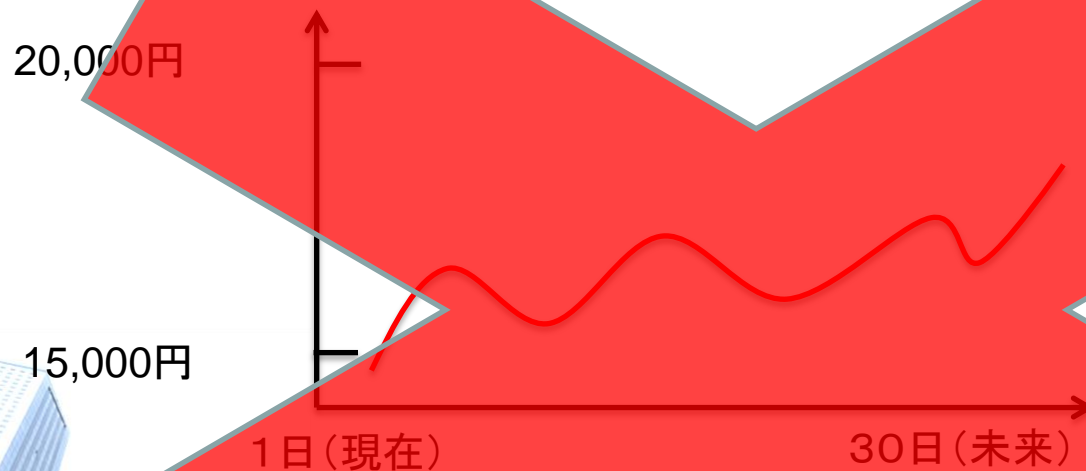
☆一ヶ月後に16,000円を越えて負けた場合



Aさんから受取る予定であった1万円を返金し、更に追加でAさんに支払うこととなります。

どうしたら勝つことができるか？

一ヶ月後に20,000円を越えない権利を売買すれば勝てる??



20,000円を越えると予想する人がいないので権利売買の取引が成立しない！

どこまでの価格幅であれば取引が成立するのか？

・その時の相場や環境、市場心理によって異なりますが、3,000円～4,000円の幅で取引が成立します。



・日経平均株価から一番離れているところでギリギリ権利売買が成立するところで『越えない』権利を買えば良い。

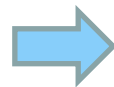


◎利益は少ないが確実に勝つことができる！！

日経225オプション取引の特徴

特徴1

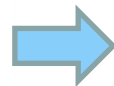
下落相場でも収益を得ることが可能です



売り・買い複数の取引を同時に行えるため市場の動向に大きく左右されずに収益をあげることができます

特徴2

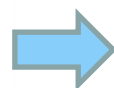
企業倒産リスクがありません



日経225は日本経済全体へ投資しているようなものなので企業の倒産のような危険性の心配はありません

特徴3

夜間取引を行うことができる



アメリカやヨーロッパ市場の為替や株式の動向を踏まえながら取引ができる

100%勝てるのか？



- ・リーマン・ブラザーズが破綻した翌日、2008年9月16日の日経平均株価の終値は**11,609円**でした。
- この後、わずか1ヶ月後の2008年10月28日には、最安値**6,994円**をつけています。下げ幅は**4,615円**、**39.7%**もの大幅下落がありました。



数年に一度、大幅な値動きがある可能性があるがあるので、100%勝てるわけではない。
➡大幅な値動きがあっても負けないような取引を行い、損失を限定的にする必要がある。